

令和5年池田町長選挙 候補者アンケート

柳生 かずなり 氏 アンケートのご回答

1) NPOへの期待について(300字以内)

現代社会では社会的課題が多様化する中で、地域の課題解決のために様々なNPOなどの公益活動団体(以下「NPO等」という。)が活動しています。NPO等について、池田町のより良いまちづくりのために、期待することはありますか。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

自治体行政には一定の限界があり、きめ細やかに、より現実に即した施策を行うには、行政機能の代替、補完を目的として、NPO等へ事業委託することが考えられる。行政機能の代替とは、行政が提供すべきサービスを住民側が提供する活動であり、公園、河川の維持管理などがある。行政機能の補完は、公共的価値が高い活動のことであり、地域文化の保存、地域見守り隊の活動などである。もう一つは、いわゆるソーシャルビジネスである。例えば特産品開発、観光資源の発掘・事業化など、今後の地域発展、活性化に資する事業分野で考えられる。池田町においては、自治体事業の補完を第一に考えるとともに、特産品開発などの地域活性化分野においても、NPOに大いに期待したい。

2) NPOへの活動支援施策について(300字以内)

池田町では「町民くらしづくり活動団体支援制度」など、NPO等への活動支援施策を行っております。今後もNPO等の活動をより推進していくために、活動支援施策は必要だと考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は補助金やそれ以外にお考えの施策がありましたら、具体的にお答えください。

はい ・ いいえ ・ その他

詳細(300字以内)

NPO活動は、もとより個人の趣味嗜好からスタートする場合も多く、人的ネットワーク不足や、財政的に脆弱なことが多い。自治体側からNPO等へは、各種支援をすべきと考える。スタートアップ時、事業拡大時には財政支援が必要と思われる。当該NPO自身の考え方もあるが、現実的に支援する方法としては、補助金制度など、財政面の支援が有効である。また、人的ネットワーク支援として、情報交換会や、スタートアップ伴走支援も有効と思われる。そうした場を自治体が設定することにより、同じ考えを持つ人との出会いや、アイデアを膨らませたり、連携すべき相手と出会うなど、一個人の活動範囲を大きく超えることが可能である。また、NPO活動を一般町民に広報し、参加者の拡大につながる事となる。

3) NPOとの協働関係の構築について(300字以内)

池田町では、まちづくり拠点の「霞溪舎」を設置するなど、住民主体のまちづくり活動を支援しています。今後も池田町のまちづくりのために、池田町とNPO等が協働関係を築き、NPO等との協働関係の構築・発展を進めていく必要があると考えますか。不要な場合はその理由、必要な場合は協働関係の構築やその関係を有効に運用するためにお考えの施策等がありましたら、お答えください。

はい

いいえ

その他

詳細(300字以内)

今回、町内を回り、様々な人と出会いましたが、NPO法人化に至らずとも、まちづくり、地域づくりに非常に多くの人に関心を持ち、意見交換し、かつそれぞれの思いの実行段階まで来ている方が多いということでした。前問の答えと被りますが、池田町として、こうした方々の活動に光を当て、伴走し、スタートアップに支援できる体制をとるといいと思います。それぞれが、独自でネットワークを広げておられ、大変素晴らしいと思いましたが、さらに町から呼びかけ、意見交換、情報交換の場を持つとよいと思いました。思わぬ着想が浮かび、アイデアが膨らみ、実現化の段階へ進みやすくなると思います。また、NPO活動開始後についても、事業継続には波があり、安定稼働がかなわないこともあります。自治体側で、相談・支援体制がとれるとよいと思っています。

ご協力ありがとうございました。